

# 利賀っ子だより



R3. 11. 26

## ○ 小中併設のよさ

### ～ 小中ふれあいの日 ～

本校には、「小中ふれあいの日」として、小中学生が一緒に昼休みにゲーム等をして過ごす日があります。小・中の各学級が持ち回りで運営することになっています。今回は、中学1年生が担当し、「しっぽ取りゲーム」をしました。

2グループに分かれ、中学生が中心になって作戦を立てたり、試合中に声をかけたりしていました。始めは、だだひたすら相手チームのしっぽを追いかけていた小学生も時間が経つにつれ、はさみうちをしたり、後ろ向きに走ったり、フェイントをかけたりするようになりまし。知らず知らずのうちに中学生の姿から学んでいったものと思われま。会の準備や進め方等もその様子を見ながら、身に付けていくことができます。すぐ身近にお手本があることのありがたさを感じました。



汗だくになって走り回った子供たち

### ～ 薬物乱用防止教室 ～



中学生と一緒に学習

砺波厚生センターの方を講師にお招きし、「薬物乱用防止教室」を開催しました。

5年生以上が参加し、中学校棟で中学生と一緒に学習しました。

薬物乱用は、体に大きな危害を加えること、身近な所に危険は潜んでいることを学び、薬を目的以外に使用しないこと、誘われても断ることの大切さを学びました。

子供たちは、講師の先生のお話の内容はもちろん、中学生のメモを取りながら話を聴くといった授業態度も大切な学びの機会となりました。

### ～ 昼休みの一コマ ～

中学生のKさんが「代々の卒業アルバムがあると聞いたから」と高学年フロアにアルバムを見に来ていました。そこにいた高学年の3人と一緒に卒業生のアルバムを見ながら、互いの成長を確かめ合ったり、思い出話をしたりしていました。

小学生と中学生と一緒に過ごすのどかな昼休みのひと時でした。



「ずいぶん顔が変わったね。」

(高田 公美)